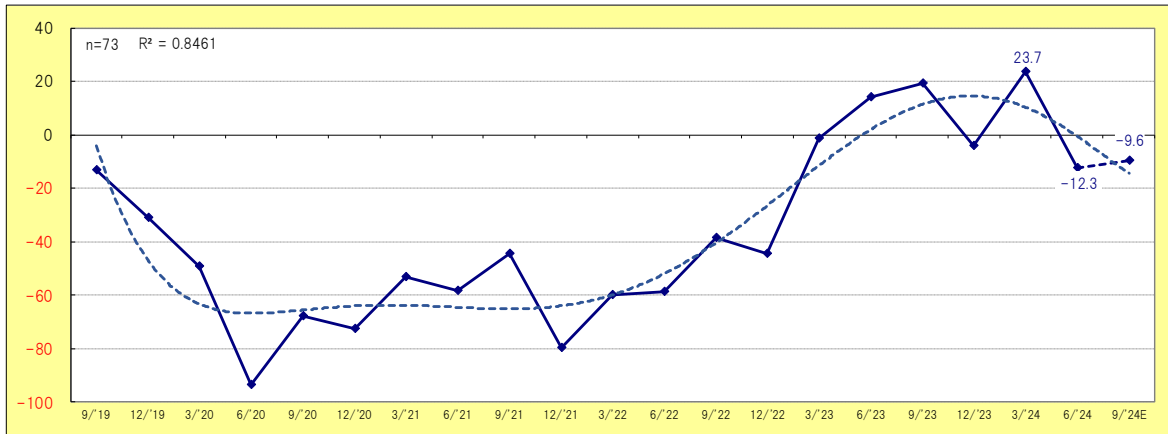


第 97 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

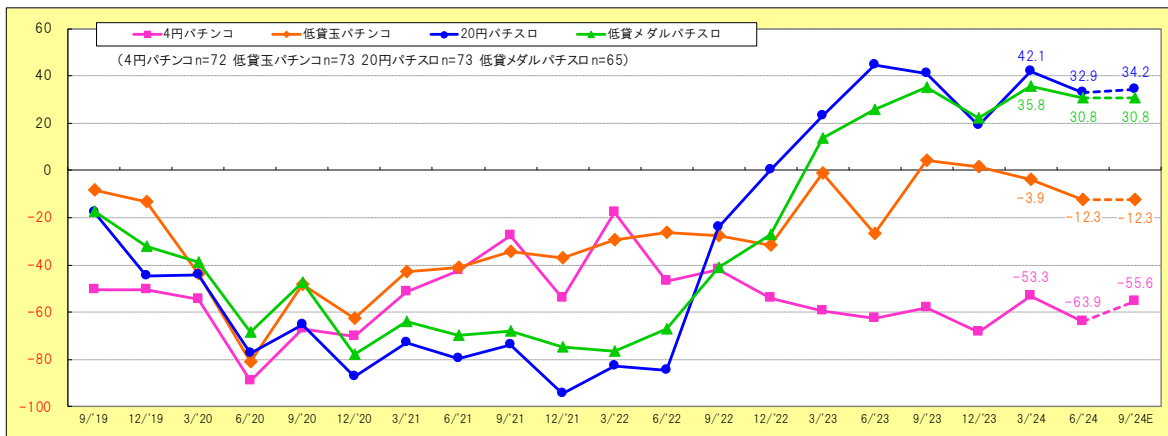
2024 年 7 月

要点

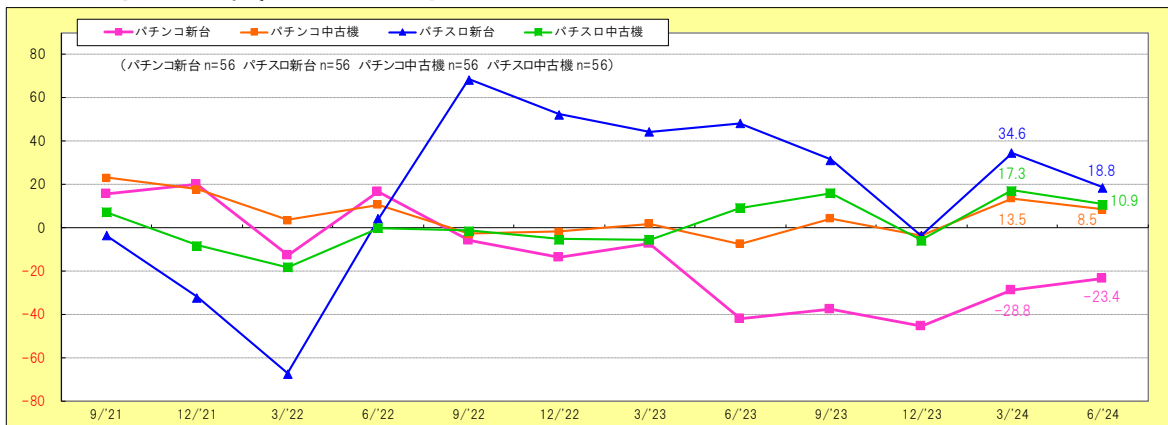
■ 全般的業況の推移: 業況は大幅に悪化、3 カ月後もマイナス圏で推移の見通し



■ 稼動状況(遊技料金別): 20 円と低貸メダルは低下するも好調を維持



■ 遊技機購入費: パチンコ新台は回復するも、依然としてマイナス圏で推移



◇ 回答状況

51 企業、73 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI 値)結果

■業況は大幅に悪化、その他設備への投資は前回に続き高い状態が継続

「全般的業況」は▲12.3 ポイント(前回比 36.0 悪化)、3 カ月後は▲9.6 ポイントとなる見通しである。

「稼動状況」はパチンコが▲61.6 ポイント(前回比 19.5 悪化)、3 カ月後は▲50.7 ポイントまで回復する見通しである。パチスロは 30.1 ポイント(前回比 16.0 悪化)、3 カ月後は 31.5 ポイントとなる見通しである。

「資本投資気運(遊技機)」は▲2.0 ポイント(前回比 3.9 悪化)、3 カ月後も▲2.0 ポイントと現状維持の見通しである。「資本投資気運(その他設備)」は 37.3 ポイント(前回比 7.1 良化)、3 カ月後は 25.5 ポイントまで落ち込む見通しである。

「充足感(雇用人員)」は▲34.2 ポイント(前回比 15.8 良化)、3 カ月後は▲37.0 ポイントとなる見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	23.7	-12.3	-9.6	現状は雨に悪化 見通しは曇りに良化
2. 稼動状況 (パチンコ)	-42.1	-61.6	-50.7	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
3. 稼動状況 (パチスロ)	46.1	30.1	31.5	現状は引き続き晴れ 見通しも引き続き晴れ
4. 資本投資気運 (遊技機)	1.9	-2.0	-2.0	現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り
5. 資本投資気運 (その他設備)	30.2	37.3	25.5	現状は引き続き晴れ 見通しは薄曇りに悪化
6. 充足感 (営業用設備)	-14.5	1.4	4.1	現状は曇りに良化 見通しも引き続き曇り
7. 充足感 (雇用人員)	-50.0	-34.2	-37.0	現状も引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨

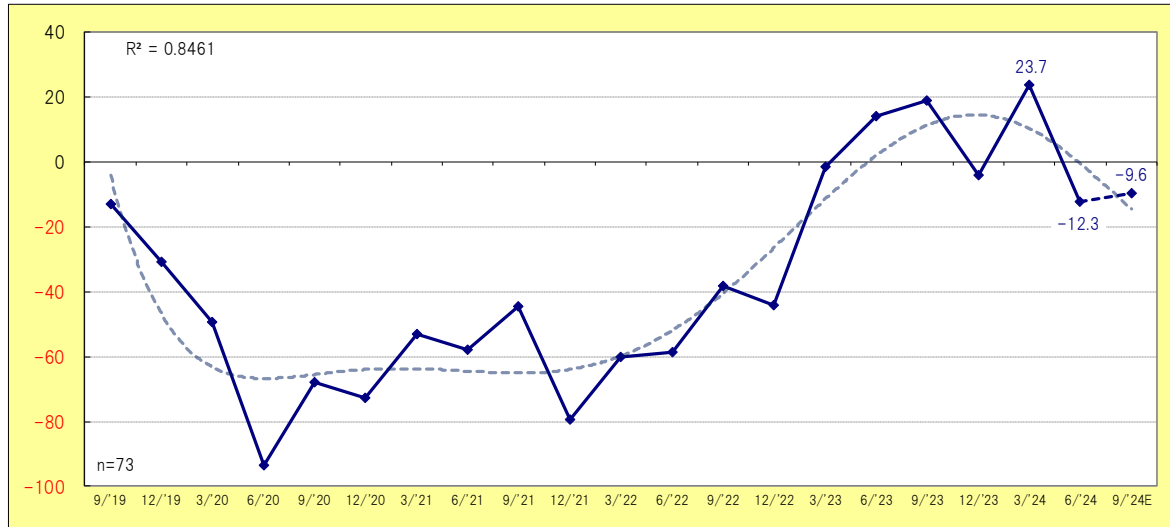
凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2024年9月期(9/'24E)の数値は見通し

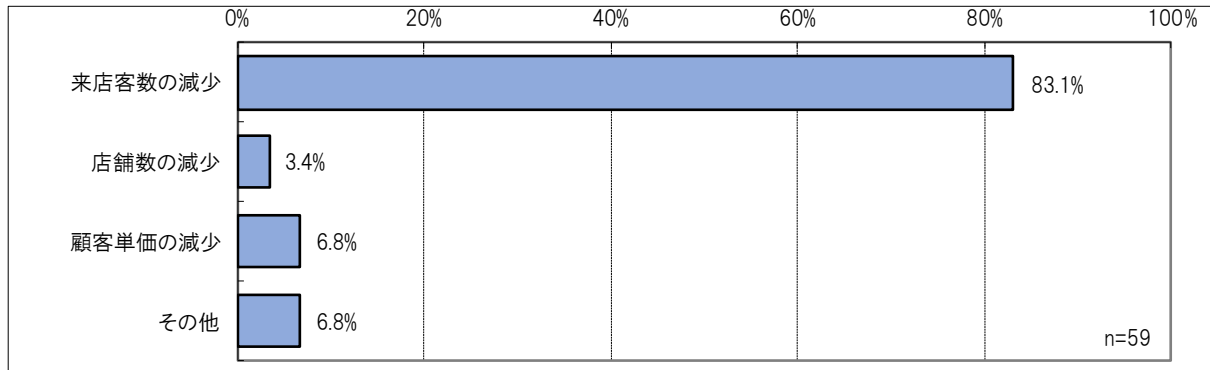
■業況は大幅に悪化、3カ月後もマイナス圏で推移の見通し



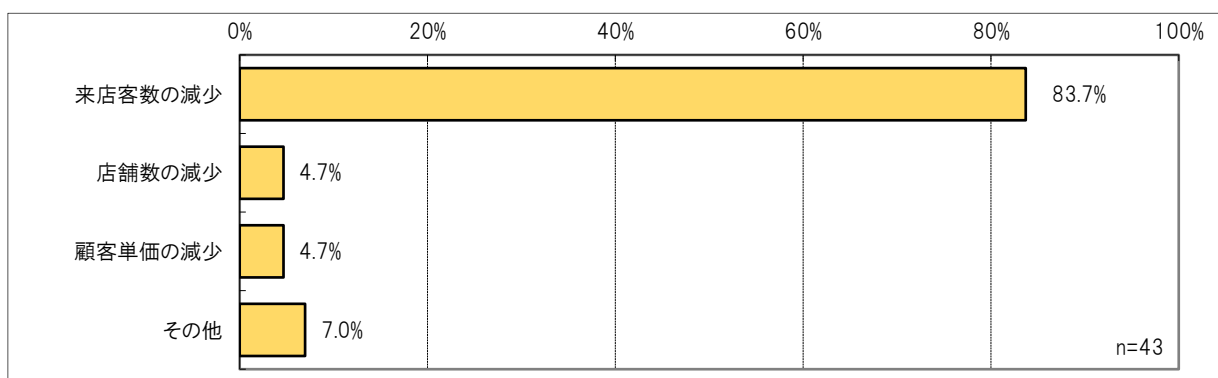
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」はマイナスに転じ、▲12.3ポイント(前回比36.0悪化)まで大幅に落ち込んだ。3カ月後は▲9.6ポイントとなる見通しである。

■全般的業況の悪化理由:客数の減少は現況、先行きともに8割台前半

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



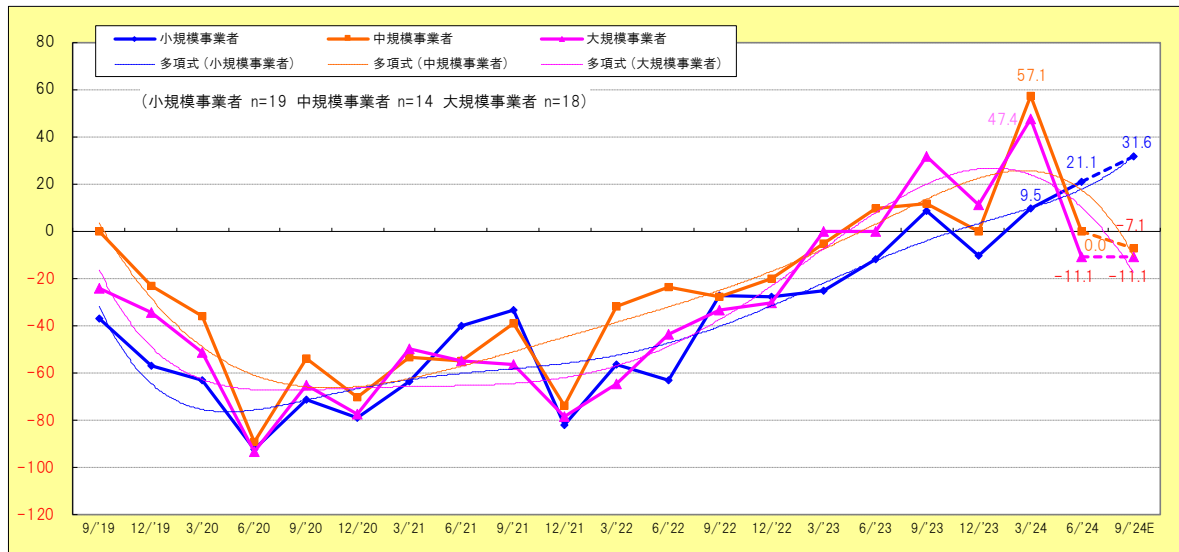
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2024年9月期(9/'24E)の数値は見通し

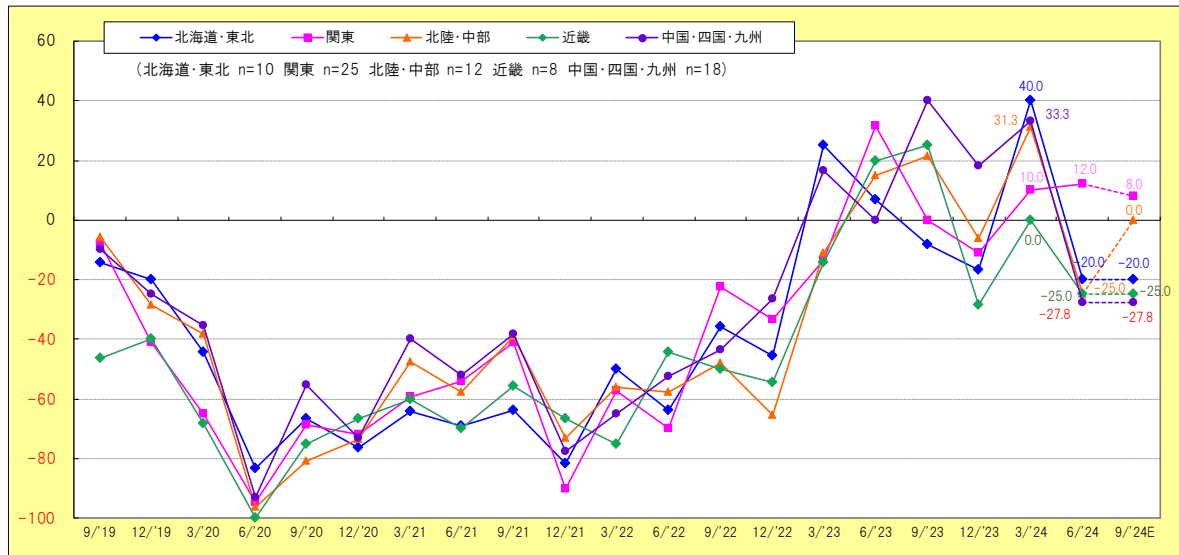
■全般的業況(規模別):小規模は回復するも、大・中規模事業者は大幅に悪化



事業規模別の「全般的業況」は、小規模事業者(1~3店舗)が21.1ポイント(前回比11.6良化)、中規模事業者(4~10店舗)が±0ポイント(前回比57.1悪化)、大規模事業者(11店舗以上)が▲11.1ポイント(前回比58.5悪化)となった。

3カ月後は小規模事業者が回復する一方、大規模・中規模事業者はマイナス圏で推移する見通しである。

■全般的業況(地域別):関東以外は悪化、3カ月後は北陸・中部のみ回復の見通し



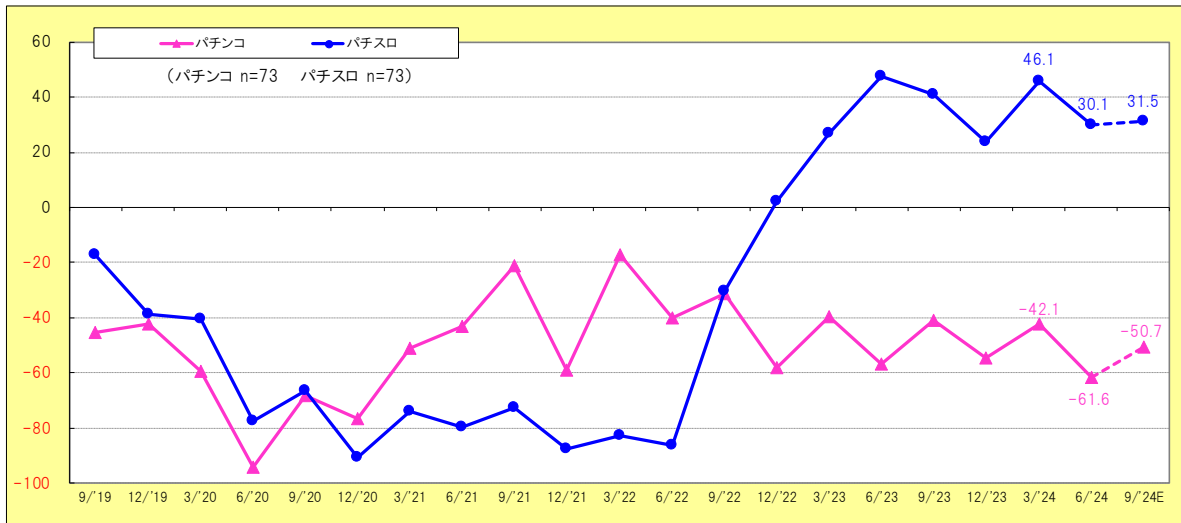
地域別での業況は関東以外の地域で大幅に悪化した。地域順では、関東で12.0ポイント(前回比2.0良化)、北海道・東北で▲20.0ポイント(前回比60.0悪化)、北陸・中部で▲25.0ポイント(前回比56.3悪化)、近畿で▲25.0ポイント(前回比25.0悪化)、中国・四国・九州で▲27.8ポイント(前回比61.1悪化)となった。

3カ月後の業況は北陸・中部のみ回復となり、北海道・東北と近畿、中国・四国・九州は現状維持の見通しである。

稼動状況(事業者全体)

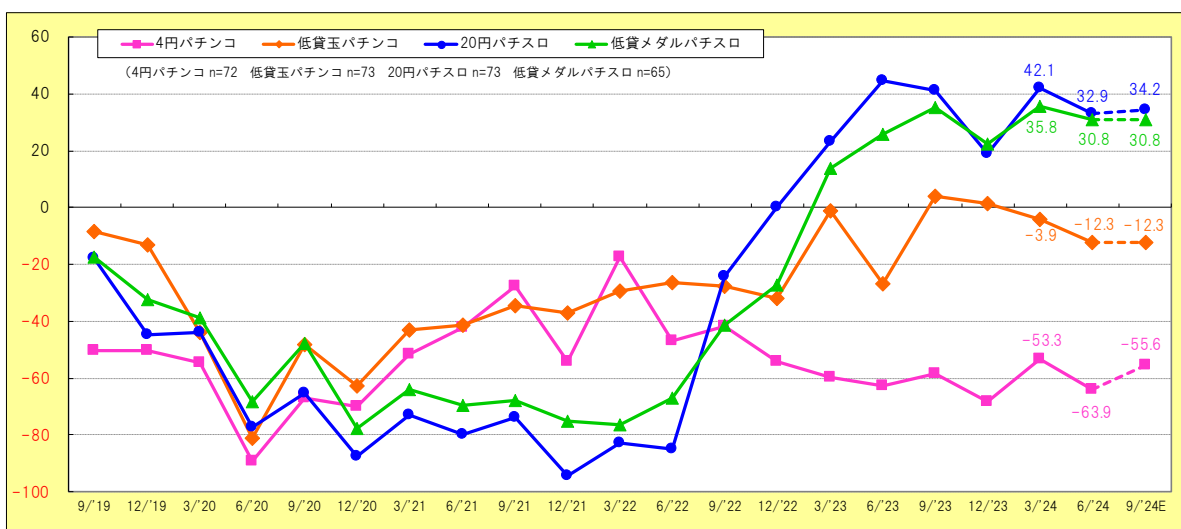
注: 2024年9月期(9/'24E)の数値は見通し

■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチスロはプラス圏で推移、パチンコは低迷



稼動状況について、パチンコは▲61.6ポイント(前回比19.5悪化)、3カ月後は▲50.7ポイントまで回復する見通しである。パチスロは30.1ポイント(前回比16.0悪化)、3カ月後は31.5ポイントとなる見通しである。

■稼動状況(遊技料金別):20円と低貸メダルは低下するも好調を維持



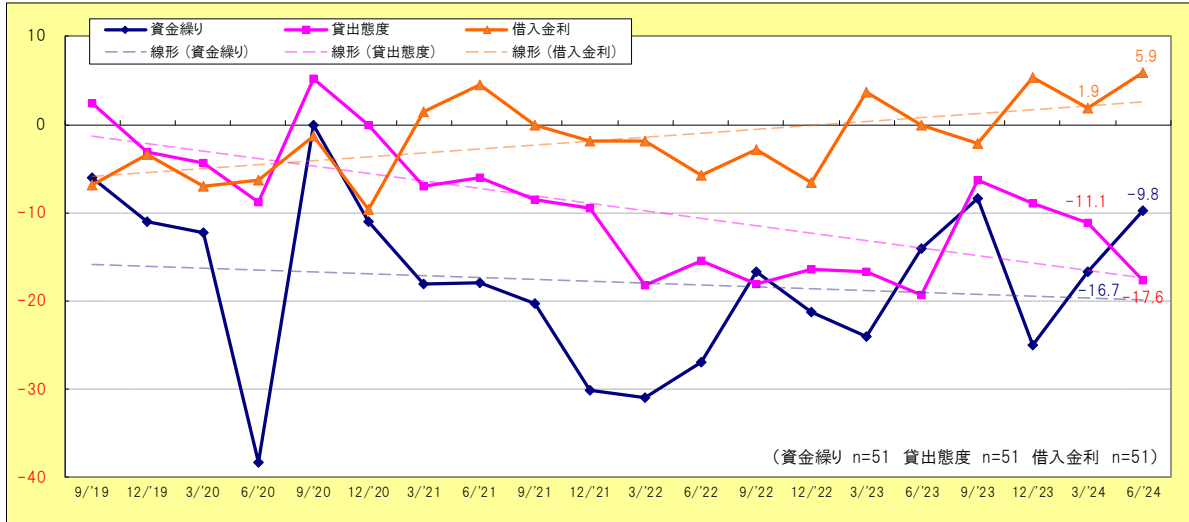
通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲63.9ポイント(前回比10.6悪化)、3カ月後は▲55.6ポイントまで回復する見通しである。20円パチスロは32.9ポイント(前回比9.2悪化)、3カ月後は34.2ポイントとなる見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲12.3ポイント(前回比8.4悪化)、3カ月後も▲12.3ポイントと現状維持の見通しである。低貸メダルパチスロは30.8ポイント(前回比5.0悪化)、3カ月後も30.8ポイントと現状維持の見通しである。

経営の現状(事業者全体)

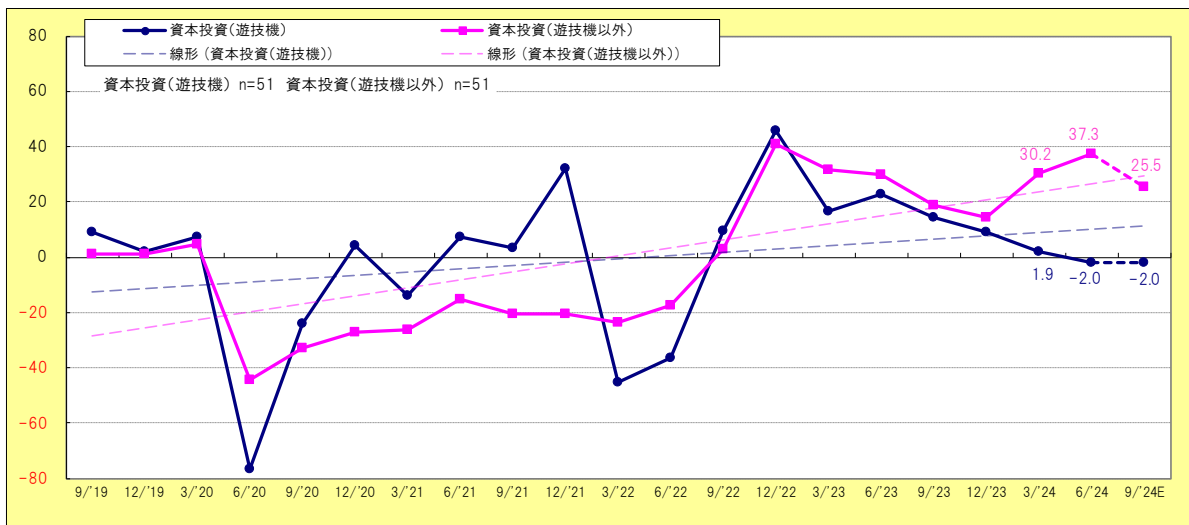
注:2024年9月期(9/'24E)の数値は見通し

■企業金融:資金繰りと借入金利は回復、貸出態度は悪化



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲9.8ポイント(前回比6.9良化)、「貸出態度」▲17.6ポイント(前回比6.5悪化)、「借入金利」5.9ポイント(前回比4.0良化)となった。

■資本投資気運:遊技機以外の投資は上昇するも、3カ月後は落ち込む見通し



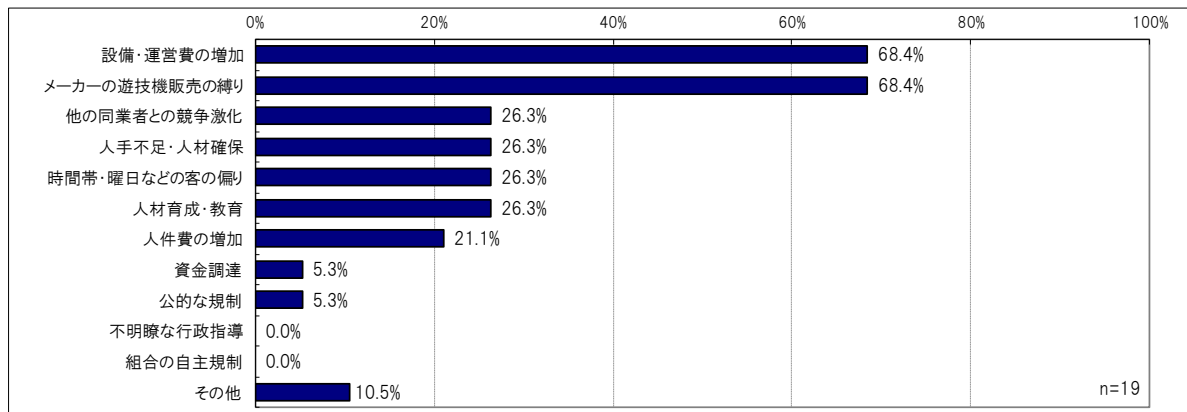
今回の「資本投資気運(遊技機)」は▲2.0ポイント(前回比3.9悪化)、3カ月後も▲2.0ポイントと現状維持の見通しである。

一方、「資本投資気運(遊技機以外)」は37.3ポイント(前回比7.1良化)、3カ月後は25.5ポイントまで悪化する見通しである。

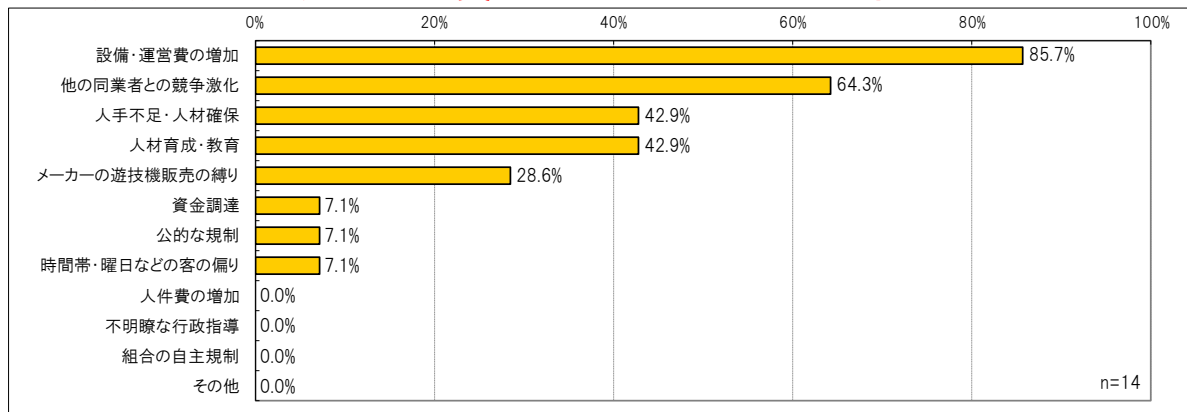
経営上の課題(事業者規模別)

注:複数回答

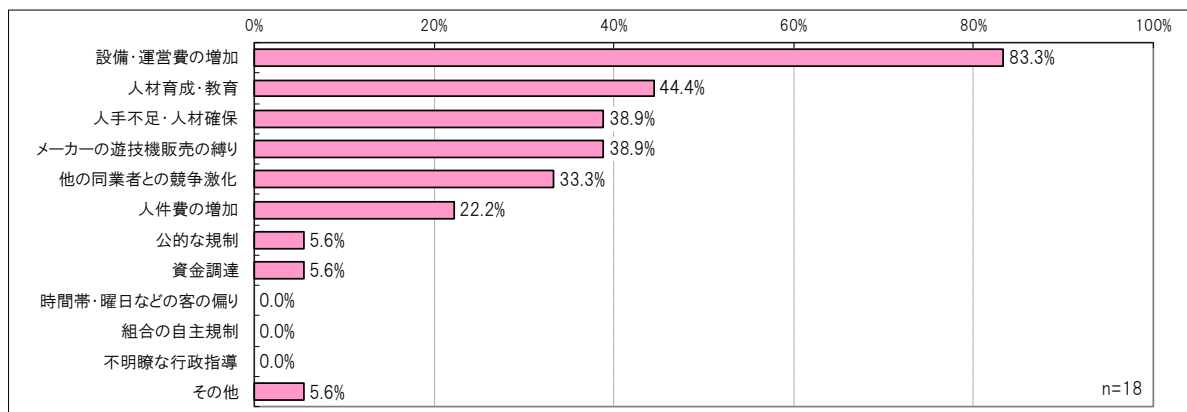
■小規模事業者:設備・運営費の増加と遊技機販売の縛りが同率で最も高い



■中規模事業者:設備・運営費の増加が8割台半ばで最も高い



■大規模事業者:設備・運営費の増加が8割台前半で最も高い



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3店舗)は「設備・運営費の増加」と「遊技機販売の縛り」が同率で最も高く、6割台後半となった。

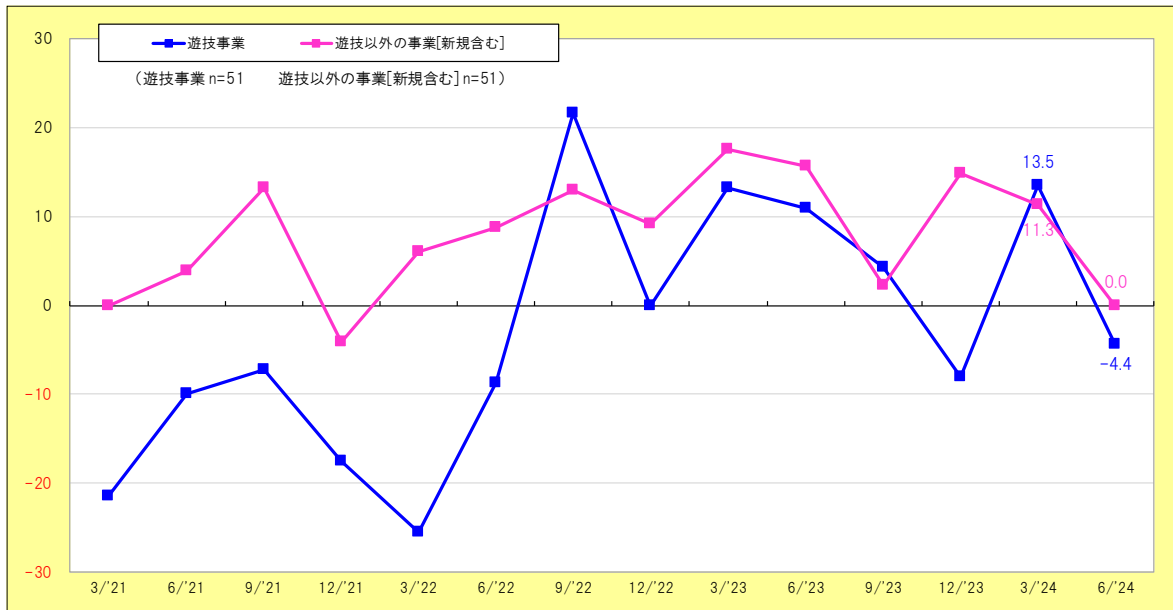
中規模事業者(4~10店舗)は「設備・運営費の増加」が8割台半ばで最も高かった。2番目に「他の同業者との競争激化」が高かった。

大規模事業者(11店舗以上)も「設備・運営費の増加」が最も高く、8割台前半となった。2番目に「人材育成・教育」が高かった。

すべての事業者規模で「設備・運営費の増加」が上位となっているが、7月からの改刷に関する設備投資の影響が考えられる。

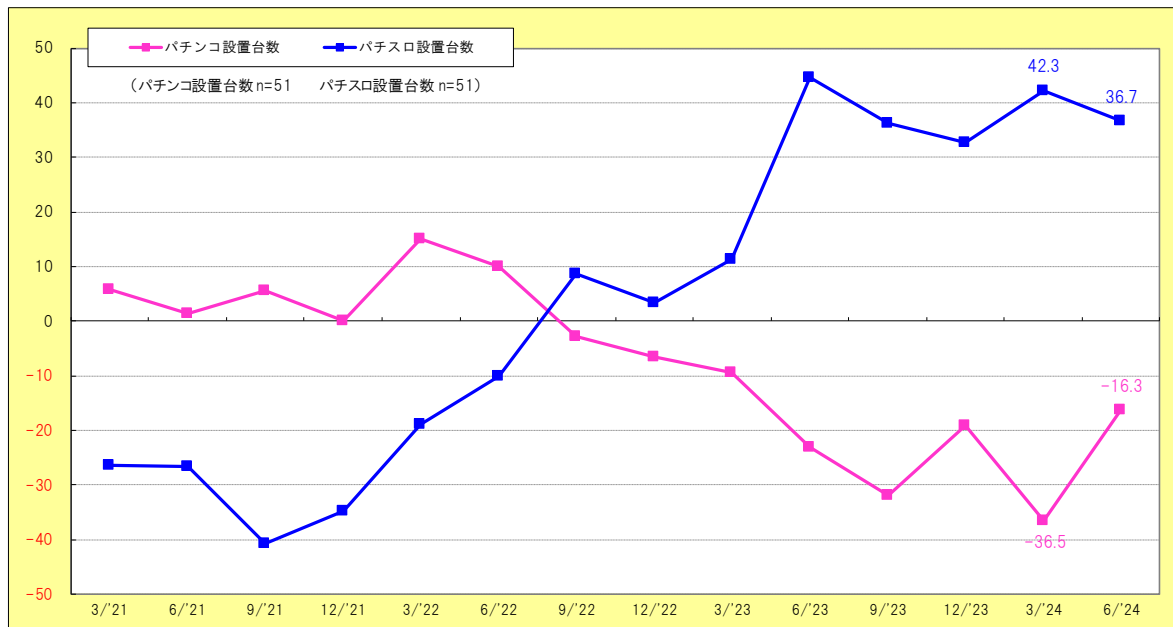
今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

■事業規模:遊技事業・遊技以外の事業ともに悪化



事業規模について増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると、「遊技事業」は▲4.4 ポイント(前回比 17.9 悪化)とマイナスに転じた。「遊技以外の事業」は±0 ポイント(前回比 11.3 悪化)まで落ち込んだ。

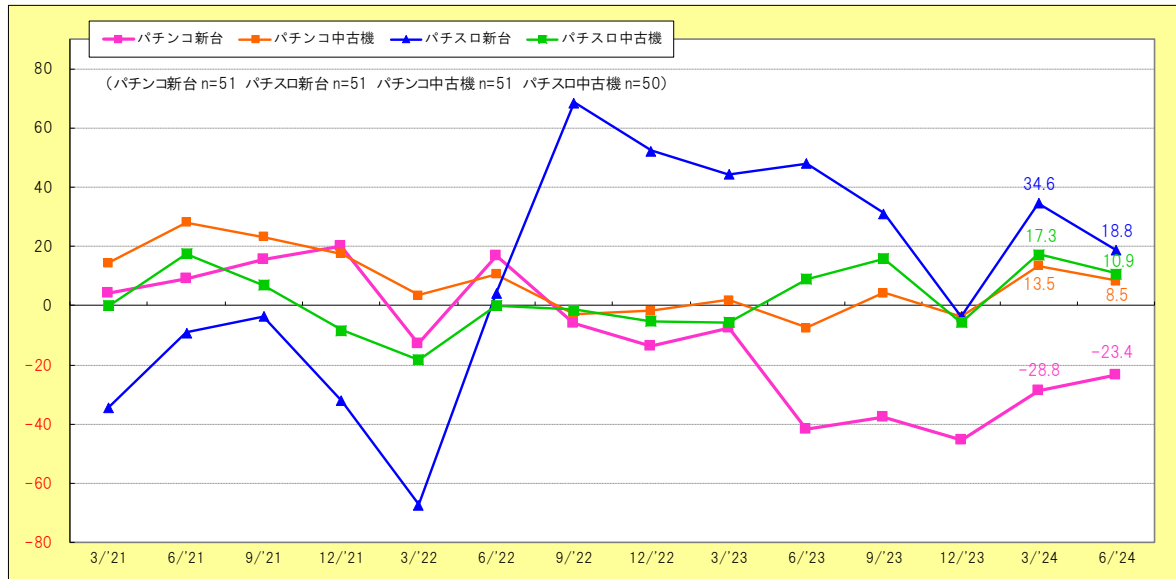
■設置台数:パチンコはマイナス圏ながらも大幅に回復、パチスロは好調を維持



設置台数について増減差(「増台」-「減台」)で見ると、「パチンコ設置台数」はマイナス圏ながらも▲16.3 ポイント(前回比 20.2 良化)まで大幅に回復した。一方、「パチスロ設置台数」は 36.7 ポイント(前回比 5.6 悪化)まで落ち込んだが、好調を維持している。

今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)②

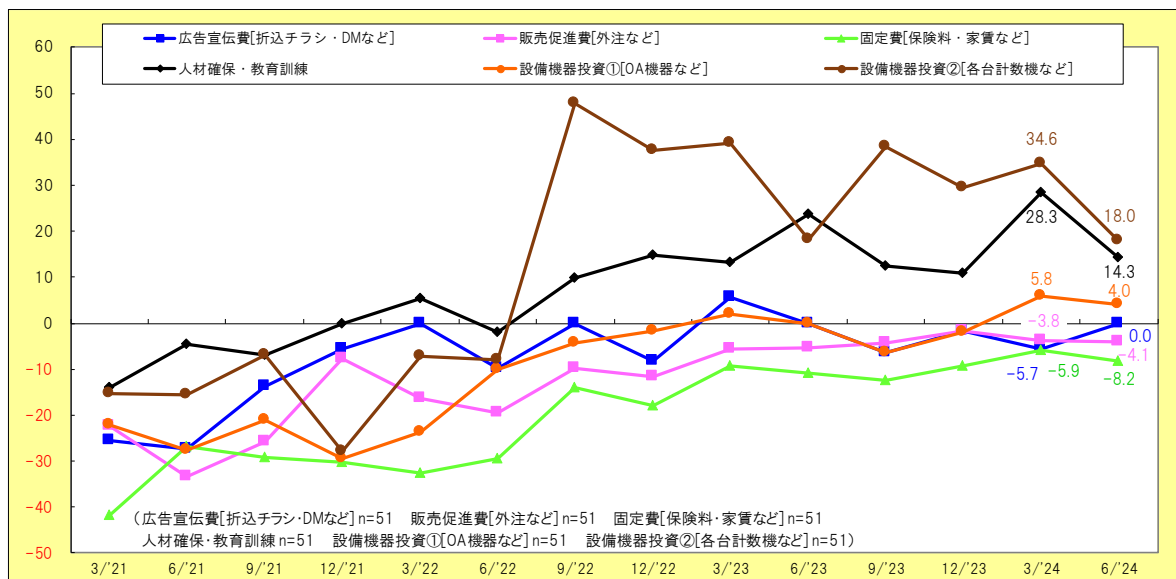
■遊技機購入費:パチンコ新台は回復するも、依然としてマイナス圏で推移



遊技機購入費について増減差(「増やす」-「減らす」)で見ると、「パチンコ新台」は▲23.4 ポイント(前回比 5.4 良化)、「パチスロ新台」は 18.8 ポイント(前回比 15.8 悪化)となった。

「パチンコ中古機」は 8.5 ポイント(前回比 5.0 悪化)、「パチスロ中古機」は 10.9 ポイント(前回比 6.4 悪化)となった。

■販売管理費:「設備機器投資②」「人材確保・教育訓練」で悪化が目立つ



販売管理費について増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」は±0 ポイント(前回比 5.7 良化)、「販売促進費」は▲4.1 ポイント(前回比 0.3 悪化)、「固定費」は▲8.2 ポイント(前回比 2.3 悪化)、「人材確保・教育訓練」は 14.3 ポイント(前回比 14.0 悪化)、「設備機器投資①」は 4.0 ポイント(前回比 1.8 悪化)、「設備機器投資②」は 18.0 ポイント(前回比 16.6 悪化)となった。

コメント(自由回答)抜粋

■現状と今後について

- ◆改札対応がすべて終わり、営業の準備は整った。しばらくは業界情勢の分析をし、ステップアップにつなげたい。また、遊技機メーカーの販売方法に振り回されないように慎重に対処していきたい。(中部・小規模事業者)
- ◆7月にラッキートリガーの性能が緩和されたスマパチの話題機が続々登場し、パチンコ参加人口が増加する可能性が高まる。その際にパチスロからの顧客流動ではなく、全体の遊技参加人口が増加となるのかが大きなポイントとなる。(東北・大規模事業者)
- ◆パチンコはラッキートリガー機ばかりでなく、勝率が高い機種でヒット機を期待しているが難しいだろう。(関東・小規模事業者)
- ◆今後登場するスマートパチンコの出来具合が気になる。(関東・中規模事業者)
- ◆4円パチンコの市場が低下しているなかで、ラッキートリガー機による単価の上昇と勝率の低下が気がかりである。(北海道・大規模事業者)
- ◆4円パチンコの稼働の低下が著しいが、その要因となる低ベースの遊技機ばかりになっていることをメーカーはどう考えているのか。(中国・大規模事業者)
- ◆パチンコの客数減少が止まらない。(関東・中規模事業者)
- ◆パチスロ好調、パチンコ不調といった感じで、全体的な客足の復活にはまだ遠い印象だ。新紙幣対応は負担が重く、やめる店も増えると思う。遊技機の「重い」「高額」「短命」は時代にそぐわない。(中部・小規模事業者)
- ◆広告宣伝のガイドライン緩和に便乗して、外注費の単価が上昇している。また、広告宣伝の需要と供給に対する各社の考え方の温度差や営業力の差も見られる。各社の創意工夫がより活発となるのか、ただのパワーゲームとなるのかが注目される。プレイヤーへのしわ寄せが稼働に影響がでるのか、内部留保で投資していけるのかなども検討が必要となるだろう。(関東・小規模事業者)
- ◆来店イベントに伴った出玉イベントが業界をダメにし、遊技人口の減少に拍車をかけているような気がする。(関東・小規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	9.5	21.1	31.6	57.1	0.0	-7.1	47.4	-11.1	-11.1	23.7	-12.3	-9.6
稼動状況(パチンコ)	-57.1	-42.1	-31.6	-35.7	-50.0	-42.9	-36.8	-72.2	-50.0	-42.1	-61.6	-50.7
稼動状況(パチスロ)	28.6	47.4	47.4	57.1	28.6	35.7	42.1	38.9	38.9	46.1	30.1	31.5
資本投資気運(遊技機)	-4.8	21.1	10.5	-14.3	-21.4	-28.6	21.1	-11.1	5.6	1.9	-2.0	-2.0
資本投資気運(その他設備)	23.8	26.3	10.5	30.8	35.7	42.9	36.8	50.0	27.8	30.2	37.3	25.5
不足感(営業用設備)	-19.0	-5.3	-5.3	7.1	7.1	14.3	5.3	-16.7	-5.6	-14.5	1.4	4.1
不足感(雇用人員)	-38.1	-26.3	-42.1	-57.1	-42.9	-42.9	-68.4	-50.0	-50.0	-50.0	-34.2	-37.0

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	40.0	-20.0	-20.0	10.0	12.0	8.0	31.3	-25.0	0.0
稼動状況(パチンコ)	0.0	-60.0	-50.0	-55.0	-40.0	-28.0	-50.0	-83.3	-66.7
稼動状況(パチスロ)	50.0	0.0	10.0	30.0	48.0	48.0	62.5	33.3	33.3
不足感(営業用設備)	-10.0	20.0	20.0	-20.0	0.0	8.0	-25.0	0.0	-8.3
不足感(雇用人員)	-60.0	-60.0	-50.0	-55.0	-24.0	-32.0	-37.5	-41.7	-41.7

項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	0.0	-25.0	-25.0	33.3	-27.8	-27.8	23.7	-12.3	-9.6
稼動状況(パチンコ)	-44.4	-75.0	-62.5	-42.9	-72.2	-66.7	-42.1	-61.6	-50.7
稼動状況(パチスロ)	33.3	12.5	25.0	52.4	27.8	22.2	46.1	30.1	31.5
不足感(営業用設備)	-11.1	0.0	12.5	-4.8	-5.6	-5.6	-14.5	1.4	4.1
不足感(雇用人員)	-44.4	-37.5	-37.5	-52.4	-27.8	-33.3	-50.0	-34.2	-37.0

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-50.0	-23.8	-5.3	-15.8	-7.1	-21.4	-5.6	-15.8	-5.6	-25.0	-16.7	-9.8
貸出態度	-11.1	-14.3	-21.1	-10.5	-7.1	-21.4	0.0	-10.5	-11.1	-8.9	-11.1	-17.6
借入金利	0.0	4.8	-5.3	10.5	0.0	14.3	5.6	0.0	11.1	5.4	1.9	5.9

* 全般的業況 n=73、稼動状況(パチンコ)n=73、稼動状況(パチスロ)n=73、資本投資気運(遊技機)n=51、資本投資気運(その他設備)n=51、

不足感(営業用設備)n=73、不足感(雇用人員)n=73、資金繰り n=51、貸出態度 n=51、借入金利 n=51

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査である。本調査は2020年9月より(株)シーズ/シーズリサーチが企画・実施しており、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所から引き継いだものである。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびに全国の有力パチンコ店経営企業

◇実施時期：

2024年6月13日～6月28日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

◇回答状況：

51企業、73地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元 〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F

Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>